

腫瘍内科学

1 臨床実習の概要

腫瘍内科学での実習では、がん疾患を有する患者の診療に積極的に参加し、高齢者医療をはじめ内科全般に必要な知識はもちろん、がん疾患領域の薬物療法を中心にその主要な病態、診断、治療を理解し、包括的な全人的医療である臨床腫瘍学を学ぶ。患者とチーム医療人を尊重したがん医療の実際を経験し、近年開発が著しい分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬ならびに遺伝子変異を背景としたがんの臓器横断的医療およびがん個別化医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習のみならず各種カンファレンス・セミナーならびに抄読会への参加を通して関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 多職種との連携、信頼の構築とともに患者との接し方など、人間関係を良好かつ円滑につくることができる（①④）
- 様々ながん種の患者を通し、症候から診断、治療まで一連の考察ができる（②③⑥）
- 疾患のみではなく患者を全人的に捉え、個々の症例に対応する能力を自ら学び、症例提示をすることができる（③⑥）
- 臓器横断的な腫瘍内科の特性と多様性を理解し、
 - ・ 医療面接や身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 外来および入院におけるがん薬物治療の現場を見学し、症例から問題の抽出、各種の鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 疾患だけでなく個々の患者の背景にも留意し、診断・治療・教育などの計画を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患の病態生理、臨床的特徴、診断基準などについて理解し、必要

な検査、治療、合併症予後の要点を説明できる (③)

- 多職種連携、チーム医療に参加し、円滑な人間関係を築くことができる (④)
- 患者に必要な、提供されるべき地域の医療連携構築に必要な社会ソース (制度) を理解し説明できる (④⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

・症候

がんの進行に伴う症状・所見から、治療によって新たに発生する症状や所見までの様々な病態 (骨髄抑制、消化器症状、末梢神経障害、感染症、間質性肺炎、アナフィラキシーショック、インフュージョン・リアクション、皮膚病変、がん由来の急性病態 (oncologic emergency)、腫瘍崩壊症候群など)

・疾患・治療

各種の固形がん (とくに頻度の多い癌腫、胃癌・大腸癌・膵癌・胆道癌・肺癌など)、神経内分泌腫瘍、悪性軟部肉腫、原発不明がん、転移性腫瘍、多臓器転移、敗血症、DIC、重複癌、がん薬物治療法の基礎、基礎疾患を有するがん薬物療、薬物に伴う有害事象 (免疫関連有害事象 (irAE)、発熱性好中球減少症など) への対処法

・検査・医用機器など

採血、検尿、超音波検査、各種消化管検査、単純 X 線検査、CT/MRI 検査、PET-CT 検査

4 学 習 方 略

病棟・外来における臨床実習、各種セミナーや症例検討会を通じて症例の問題点を学び理解する。

5 事前事後学習について

臨床実習開始前に腫瘍内科学の臨床実習予習ノートを終らせておくこと

【自己学習 (事前事後学修) に必要な時間】

実習 1 日あたり 予習 : 45分 復習 : 45分

6 課題 (実習中の課題やレポート等) に関するフィードバック

実習中の課題は、実習中のセミナー等で適宜フィードバックして学ぶ

7 評 価

| 評価項目 | 評価割合 |
|---|------|
| 臨床実習出席（出席表） | 30% |
| 予習ノート | 30% |
| 実習レポート（担当症例のレポート） | 0% |
| 担当患者症例提示 | 20% |
| その他 | 20% |
| 上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。 [欠席原点について] 試験点数に出席率を書けたものを実際の試験成績とする。 | |

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

指導教員： 安本 和生（責任者）、新井田 要

10 参 考 図 書 ・ 文 献

参考図書

1. 入門腫瘍内科学 改訂第3版 JSMO 日本臨床腫瘍学会 [編集] 南江堂 2020
2. がん化学療法 レジメン管理マニュアル第3版 医学書院 2019
3. 新臨床腫瘍学 改訂第6版 南江堂 2021
4. がんがみえる 第1版 医療情報科学研究所 [編集]
株式会社メディックメディア 2022
5. がん支持医療テキストブック サポートケアとサバイバーシップ
一般社団法人 日本がんサポートケア学会 [編集] 金原出版株式会社 2022
6. 成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム治療のガイドライン 第3版 金原出版株式会社 2022

腫瘍内科学

週間スケジュール (1週目)

| | 9:10 | 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:45 | 17:00 | 17:15 |
|---|------------------------|------|---|-------|----------------|-------------|---------|-------------------|-------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 月 | | | オリエンテーション・ 課題説明 [安本教授] 予習ノート提出 | | | 昼 休 み | | | | | | | | |
| 火 | 朝カンファ レンス [安本教授] | | | | 外来実習 [安本教授] | 昼 休 み | | 予習ノート解説 [安本教授] | | ・症例カンファレンス ・回診 [安本教授] | | 薬剤説明会 | | |
| 水 | 病棟実習 | | | | | 昼 休 み | 病棟実習 | | | | | | | |
| 木 | 病棟実習 | | | | | 昼 休 み | 教学課(座学) | | | | | | | |
| 金 | 教学課(座学) | | | | | 昼 休 み | 教学課(座学) | | | | | | | |

2週目

| | 9:10 | 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:45 | 17:00 | 17:15 |
|---|------------------------|-----------------|----------------|-------|----------------|-------------|---------|-------|-------------------|-------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 月 | | | 課題解説 [安本教授] | | | 昼 休 み | | | | | | | | | |
| 火 | 朝カンファ レンス [安本教授] | | | | 外来実習 [安本教授] | 昼 休 み | 病棟実習 | | がんの基礎知識 [安本教授] | | ・症例カンファレンス ・回診 [安本教授] | | 薬剤説明会 | | |
| 水 | 病棟実習 | | | | | 昼 休 み | 病棟実習 | | | | 総括 [安本教授] | | | | |
| 木 | | セミナー [新井田教授] | | | | 昼 休 み | 教学課(座学) | | | | | | | | |
| 金 | 教学課(座学) | | | | | 昼 休 み | 教学課(座学) | | | | | | | | |